

山行報告書

報告書作成

2006年8月10日

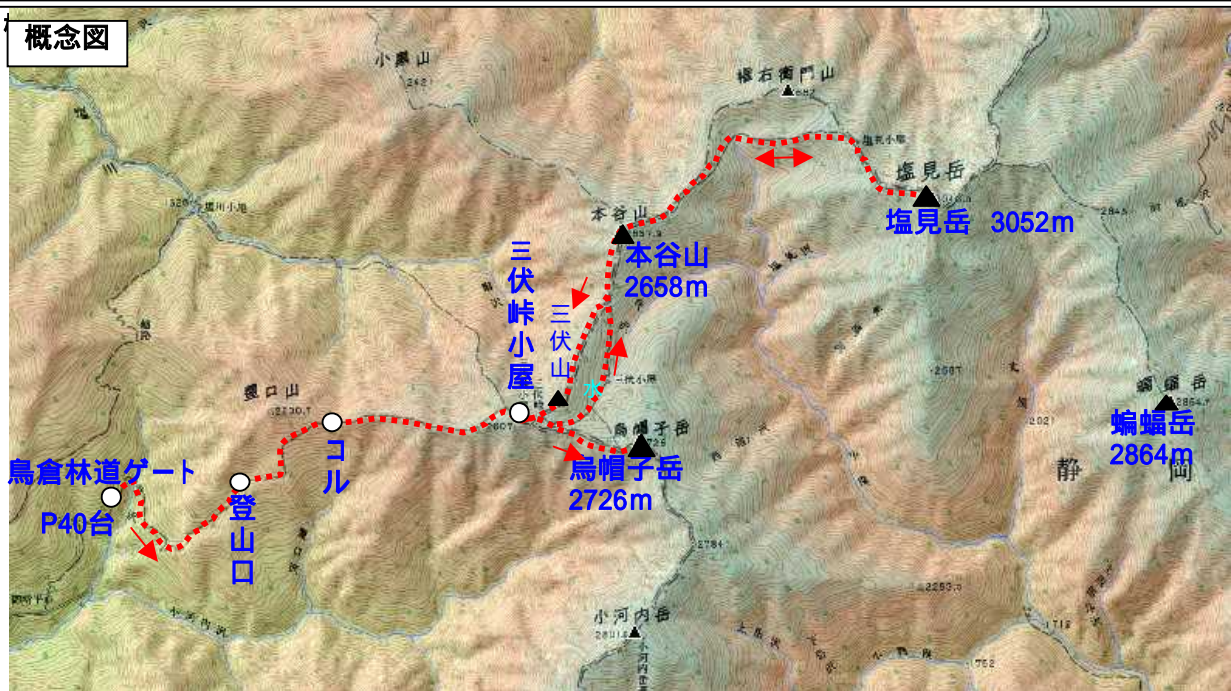
山名 [山域]	塩見岳 3052m [南アルプス]	目的と方法	花観賞 & 眺望
登山期間	2006年7月30日(日) ~ 31日(月)	山行形態	前日発 小屋一泊2日
参加人数	1人		

行動記録 7/29(土) 岡崎(16:00)===平谷道の駅(17:45,17:50)===飯田IC(18:45)===松川IC(19:00)
「ETC割引300円」===鳥倉林道ゲートP(20:05)車中泊

7/30(日) 鳥倉林道ゲートP(5:00)---鳥倉登山口(5:32,5:40)---豊口山間のコル(6:25)---三伏峠小屋(7:45,7:50)---鳥帽子岳(8:35,8:45)---本谷山(10:17,10:25)---塩見小屋(11:50,12:10)---塩見岳西峰(13:35)---塩見岳東峰(13:40,13:50)---西峰---塩見小屋(14:45)

7/31(月) 塩見小屋(4:30)---塩見岳西峰(5:15)---塩見岳東峰(5:20,5:45)---西峰---塩見小屋86:30,7:10)---本谷山(8:10,8:25)---三伏山(9:10,9:20)---三伏峠小屋(9:30)---豊口山間のコル(10:15)---鳥倉登山口(10:40,10:45)---鳥倉林道ゲートP(11:15,11:40)===高森温泉[湯ヶ洞]500円(12:55,14:00)===平谷道の駅(15:20,15:30)===岡崎(17:10)

概念図



日誌

7/30(日) 晴れ無風 鳥倉林道ゲートPで登山届けポストに計画書を入れ、5時00分登山スタート林道ゲートPは40台駐車可能、水洗トイレ有り、以前の林道ゲートより歩いて10分ほど手前である。ゲートから鳥倉登山口まで私が早足で歩いて32分でした。林道の脇では、ヒヨドリバナ、ホタルブクロ、シモツケソウ等の花が咲いていました。鳥倉登山口にも登山届けポスト有ります。仮設トイレも有り、登山口からは、カラマツの植林帯のなかを歩く三伏峠までに数ヶ所丸太橋が有り、それを渡るのに滑り、踏み外しに注意！全体的には歩き易いと言えるでしょう。シラビソに囲まれた三伏峠から鳥帽子岳に向かって10分ほど歩くと、お花畑にでる。花はまだ少なくハクサンフウコがちらほらミヤマシシウドの花はまだ、ぜんぜん咲いていなかった。鳥帽子岳から見る塩見岳が一番格好よく見えると聞いていたので鳥帽子岳山頂に行き塩見岳の勇姿をじっくりと眺めることが出来た。鳥帽子岳から三伏小屋(今は崩壊して無し)へ向かい水場でペットボトルに水を補給する。三伏山を巻くこちらのコースは、歩く人は少なくて少々道は荒れている。木の枝を時々かき分けながら歩き本谷山の所のお花畑手前にでる。ここのお花畑ではマルバダケブキが沢山咲いていました。花を見ながら歩いて行くうちに本谷山山頂に着く。ここでの眺望もなかなか良い。山頂を後に細尾根を歩き立ち枯れの林で塩見岳を眺めて鞍部へと下る。そして権右衛門山の下をトラバース気味に登り、シラビソの斜面に登り、ハイマツの尾根を出て間もなくして塩見小屋に着く。小屋に着くも身体はバテバテで脚にも、かなり乳酸がたまっているようだ。！軽い頭痛もあり(高山病?)この時点で明日の蛸蝮岳は断念する。昼前に小屋着いて寝るまでには、時間があり過ぎるから塩見岳山頂までゆっくりと往復する事にした。山頂付近でも無風、晴天でゆっくりと眺望を楽しめた。15時前に小屋に戻り16時30分からの夕食まで横になり休息タイム。19時消灯、就寝。

7/31(月) 晴れ微風 4時30分小屋を出てもう一度、塩見岳山頂へ行き早朝の南アルプスの眺望を楽しむ。山頂でのご来光に少し間に合わなかったが、でも早朝の景観は素晴らしかった。前夜発、日帰り山行が多い私では、なかなか早朝の時間帯に山頂で時をすごす事はない。(山頂付近の小屋泊りも良いですね。)